

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

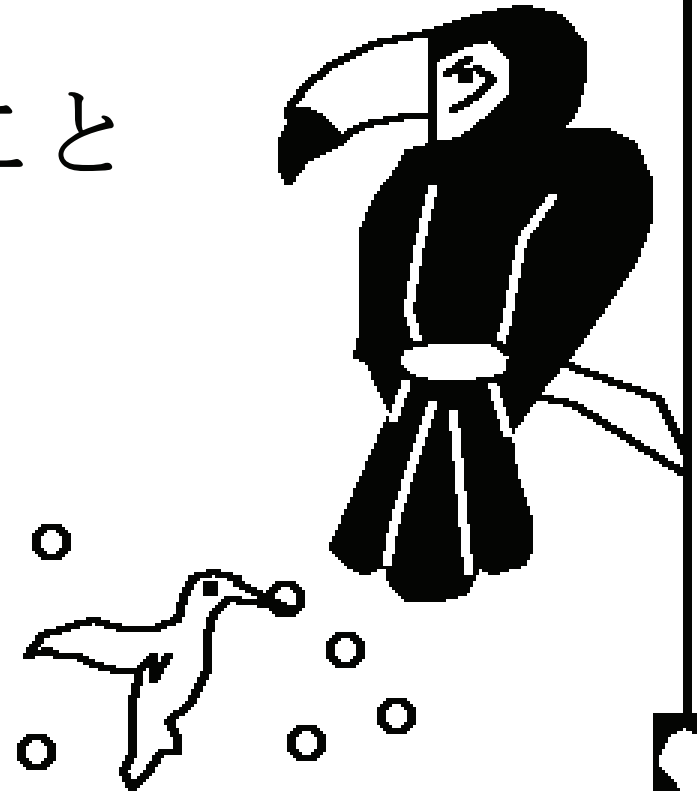
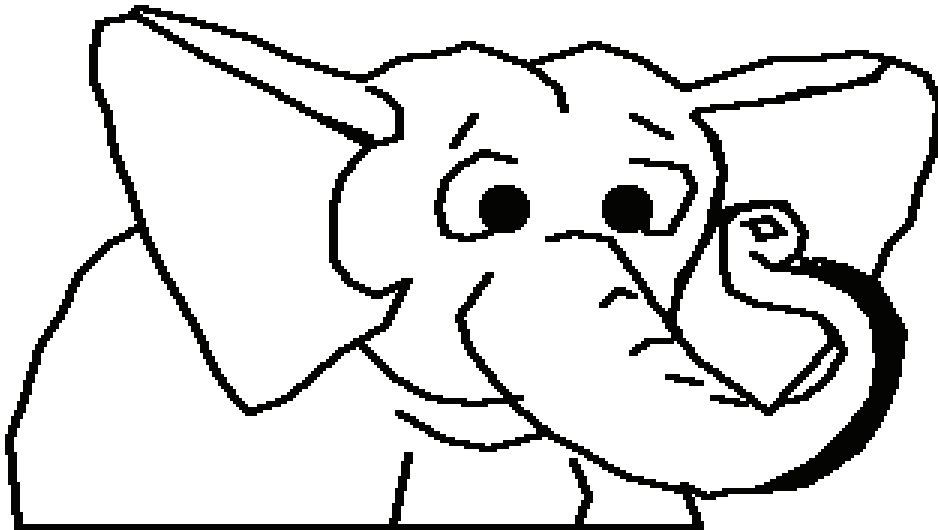
案内いたします

かみ

## 神さまが、すべてのもの

とき

## をつくられた時のこと



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ

改作者: Bob Davies; Tammy S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2009 Bible for Children, Inc.

きよか

たにん う

かぎ

はなし

また

きよか

許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



わたし せいしよ かみ  
いったいだれが、私たちをつくったのだろう。聖書、つまり神さまのことばは、  
じんるい はじ おし  
私たち人類が どのようにして 始まったかを教えてくれています。

むかし かみ はじ  
ずっとずっと昔のことです。神さまは、いちばん初めの人をつくり、

なまえ かみ  
アダムと名前をつけられました。神さまは、

ち ちり  
アダムを地の塵からつくられたのです。



いき ふ いのち あた

それから、アダムの息を吹きかけて命を与え、

い

生かしてくださいました。アダムは、

じぶん

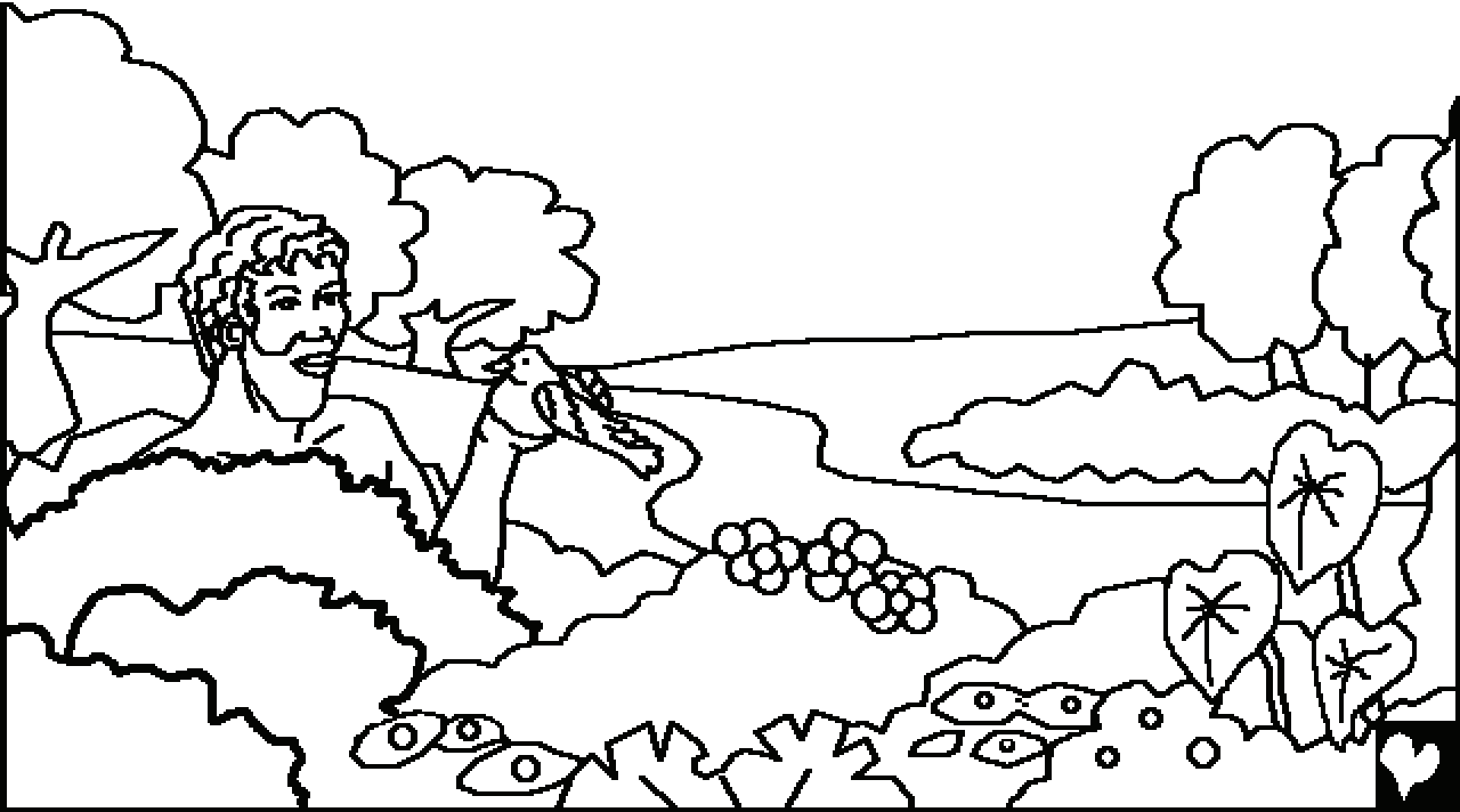
その よ

うつく

にわ お

き

自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に置かれていることに気がつきました。



かみ まえ かみ  
神さまが、アダムをつくられる前のことです。神さまは、すばらしいものでいっ  
み うつく せかい かみ すこ  
ぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのでした。神さまは、少しづ  
すこ こだか おか ひろ そうげん  
つ、少しづつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、  
かお はな たか き ぎ はね ことり と まわ  
香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつ  
げんき およ  
ばちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるへびさんたち。



ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、  
かみ  
神さまがつくられたのですよ。



いちばん初<sup>はじ</sup>めの時<sup>とき</sup>、そうです。神<sup>かみ</sup>さまが、  
まだ何<sup>なん</sup>にもつ<sup>と</sup>くられてい<sup>い</sup>な<sup>な</sup>か<sup>か</sup>つた時<sup>とき</sup>のこと。

神<sup>かみ</sup>さまがいら<sup>い</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>や<sup>や</sup>る他<sup>ほか</sup>は、  
ほんとうに何<sup>なに</sup>もな<sup>な</sup>か<sup>か</sup>つたんです。

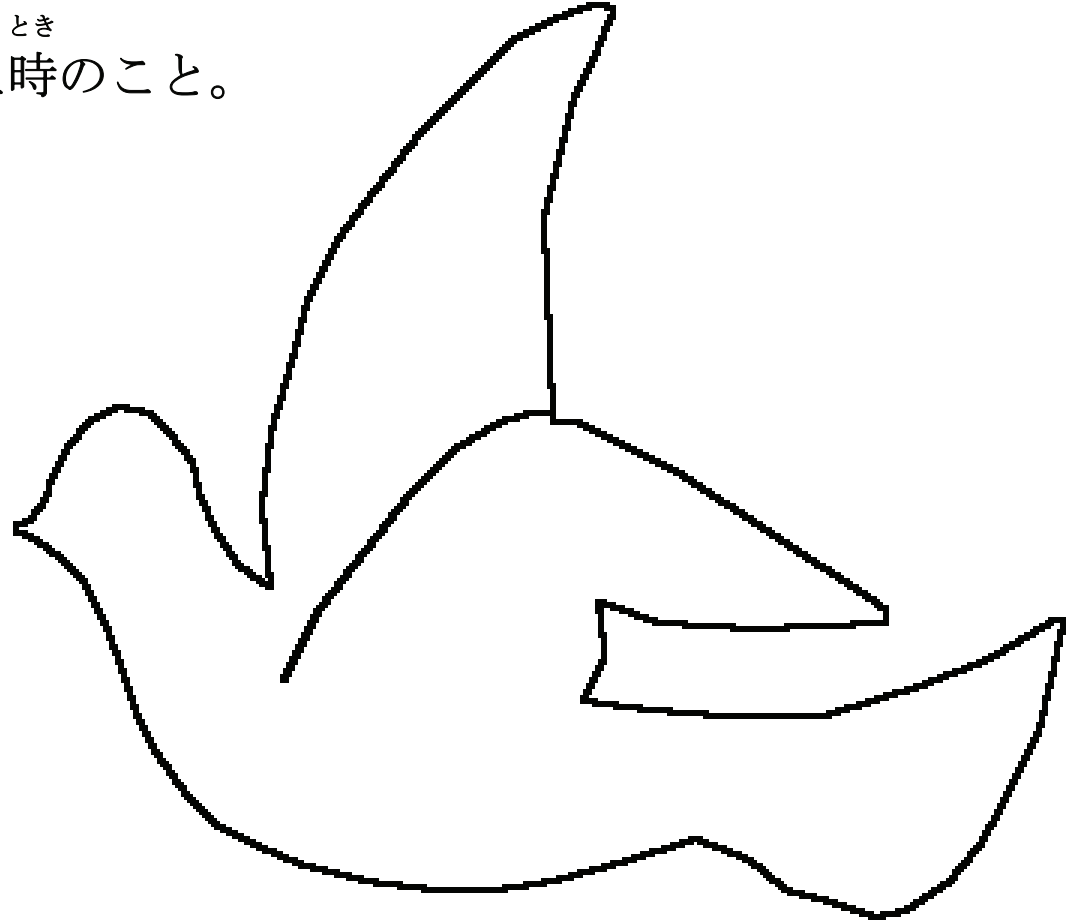
光<sup>ひかり</sup>もな<sup>な</sup>ければ、水<sup>みず</sup>もない。

上<sup>うえ</sup>もな<sup>な</sup>ければ、下<sup>した</sup>もない。

き<sup>き</sup>の<sup>の</sup>う<sup>う</sup>  
昨日<sup>きのう</sup>もな<sup>な</sup>ければ、  
き<sup>き</sup>よ<sup>よ</sup>う<sup>う</sup>  
今日<sup>けふ</sup>もない。

ただ、  
な<sup>な</sup>に<sup>に</sup> は<sup>は</sup>じ<sup>じ</sup>  
まだ何<sup>なん</sup>も始<sup>は</sup>め<sup>め</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>て<sup>て</sup>ない神<sup>かみ</sup>さまだけが、  
いら<sup>い</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>や<sup>や</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>。それ<sup>それ</sup>から<sup>から</sup>な<sup>な</sup>の<sup>の</sup>です。

か<sup>か</sup>み<sup>み</sup>  
神<sup>かみ</sup>さまが<sup>が</sup>つ<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>り<sup>り</sup>は<sup>は</sup>じ<sup>じ</sup>め<sup>め</sup>ら<sup>ら</sup>れた<sup>た</sup>のは。



はじ      かみ                  てん      ち  
初め   神さまは、天と地を   つくられました。



ち かたち なに  
その地は形もなく、何もありませんでした。

まっくら やみ  
ただ、真っ暗な闇が、どこまでも

は  
どこまでも果てしなくおおっ  
ていました。そこで

かみ くち ひら  
神さまは、口を開か

ひかり  
れました。「光、  
あれ。」と。





ひかり で

かみ

ひかり ひる

すると、なんとまあ 光が出てきたのです。神さまは、光を昼、

やみ よる な

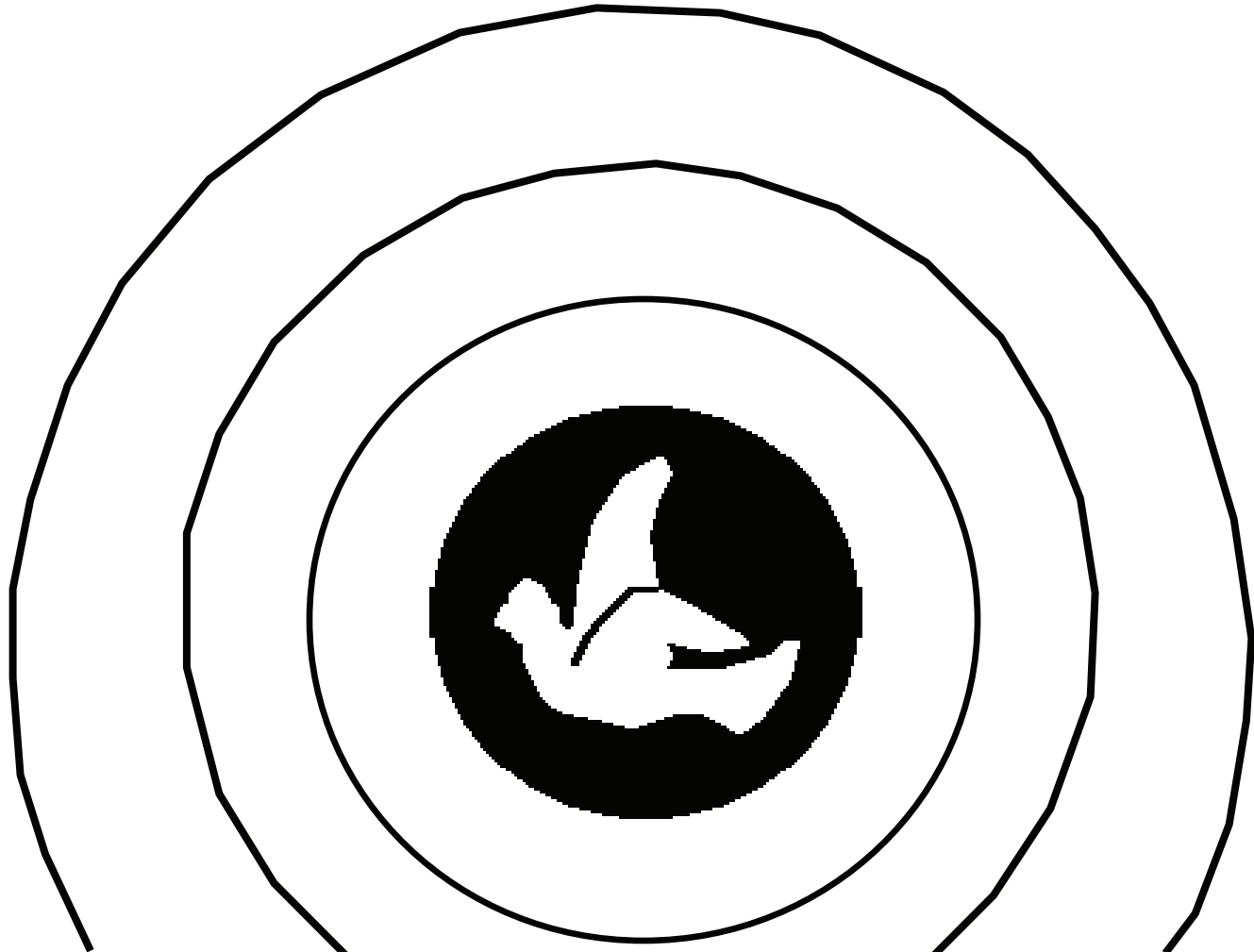
ゆう

あさ

闇を夜と名づけられました。こうして夕となり朝がやってきました。

だい 1 にちめ

第一日目です。



ふつかめ かみ みず はこ

二日目、神さまは水を運んでこられました。

おおぞら

たいよう

うみ

みずうみ

わ

そそ

それを大空のもとできちんと太洋や海や湖に分けられ注がれたのです。

みつかめ かみ

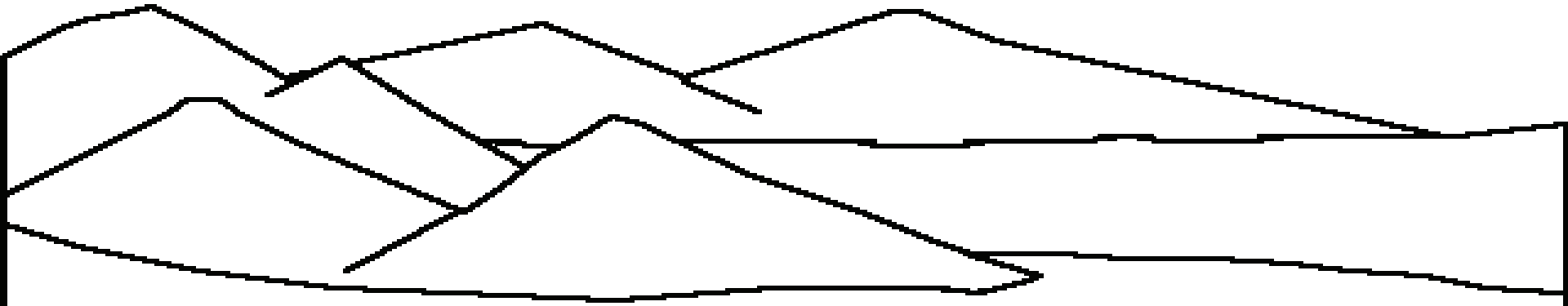
かわ

とち

あらわ

三日目、神さまは言われました。「さあ、乾いた土地が現れるように。」

と。そしてそのようになりました。



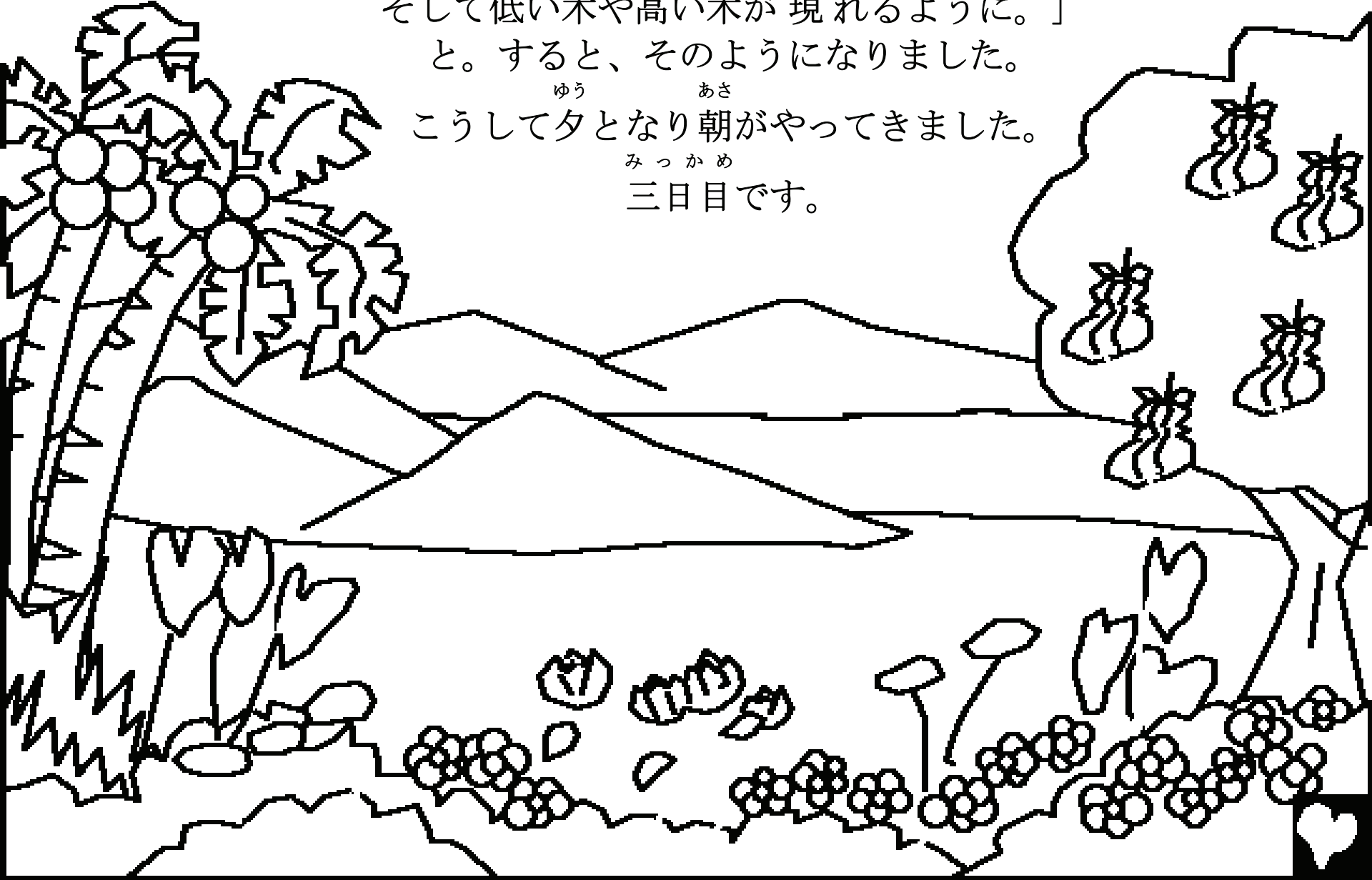
かみ めいれい くさ はな  
また、神さまは命令されました。「草や花、

ひく き たか き あらわ  
そして低い木や高い木が現れるように。」

と。すると、そのようになりました。

ゆう あさ  
こうして夕となり朝がやってきました。

みっかめ  
三日目です。



かみ

たいよう つき

それから神さまは、太陽、月、

かぞ

ほし

数えきれないほどたくさんの星をつくられました。

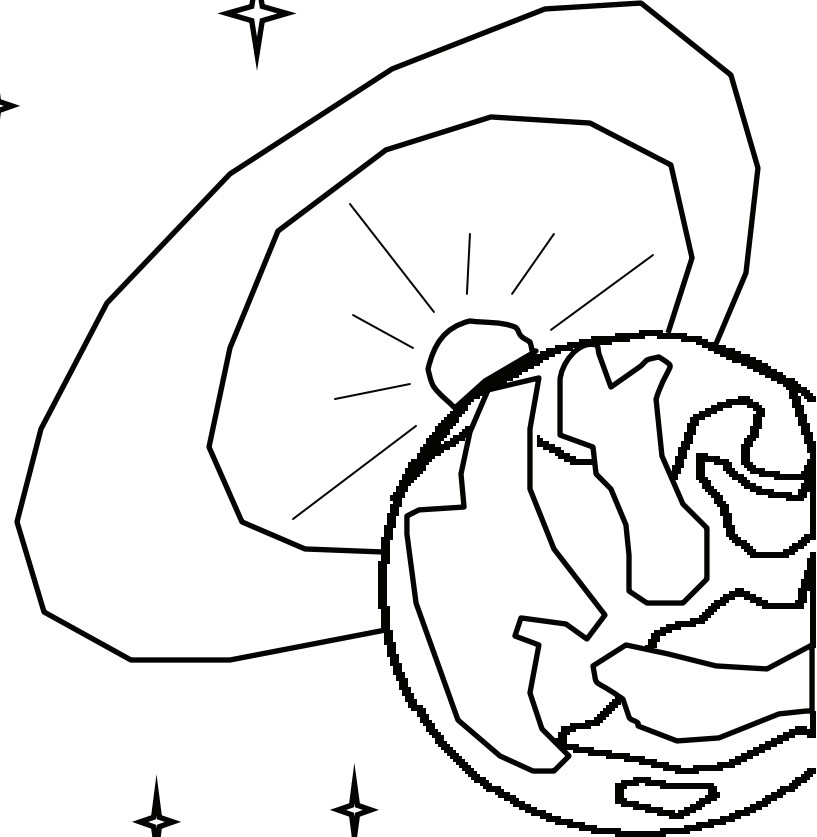
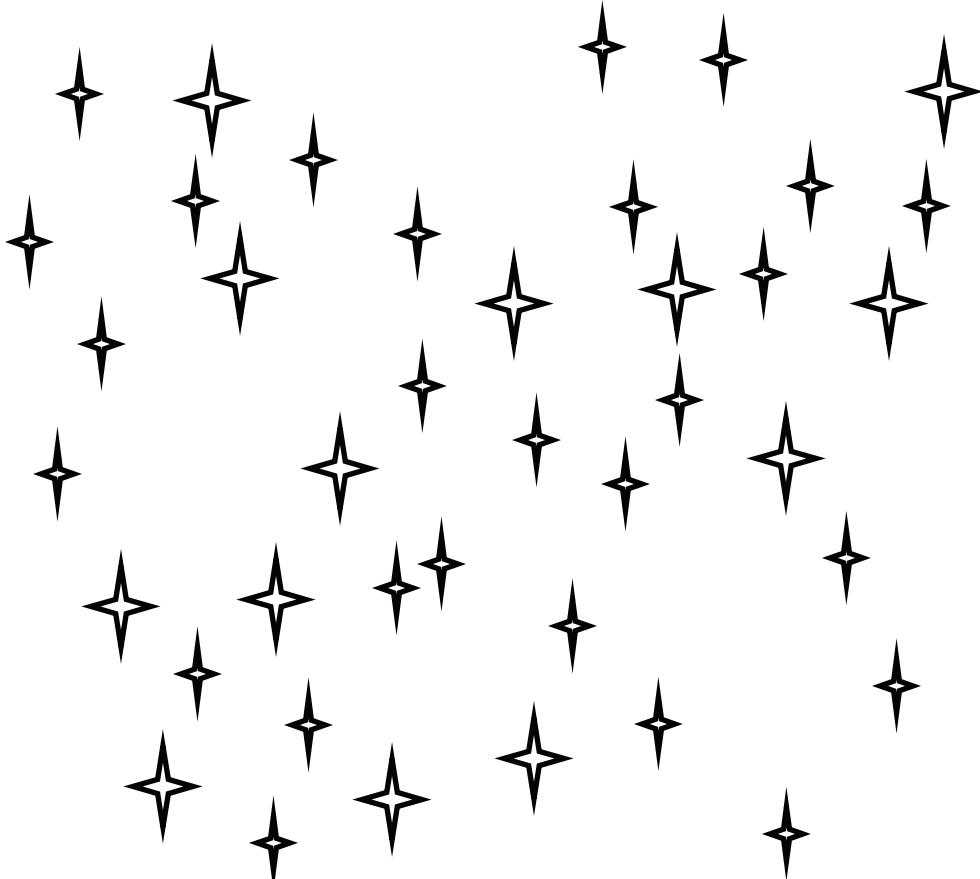
ゆう

あさ

こうして夕となり朝がやってきました。

よっかめ

四日目です。



かみ つぎ かんが うみ  
神さまが次に考えられていたことは、海の  
い もの さかな とり  
生き物や魚や鳥たちをつくることでした。

いっかめ おお  
五日目、大きなメカジキやちっちゃい

あし なが  
イワシのなかまたち、脚の長いダチ

しあわ  
ヨウさんやいつも幸せそうにさえ  
ずっているかわいいハチドリたちも

さかな  
つくられました。たくさんの魚たち

みず およ  
が水のなかでスイスイと泳ぎまわり、

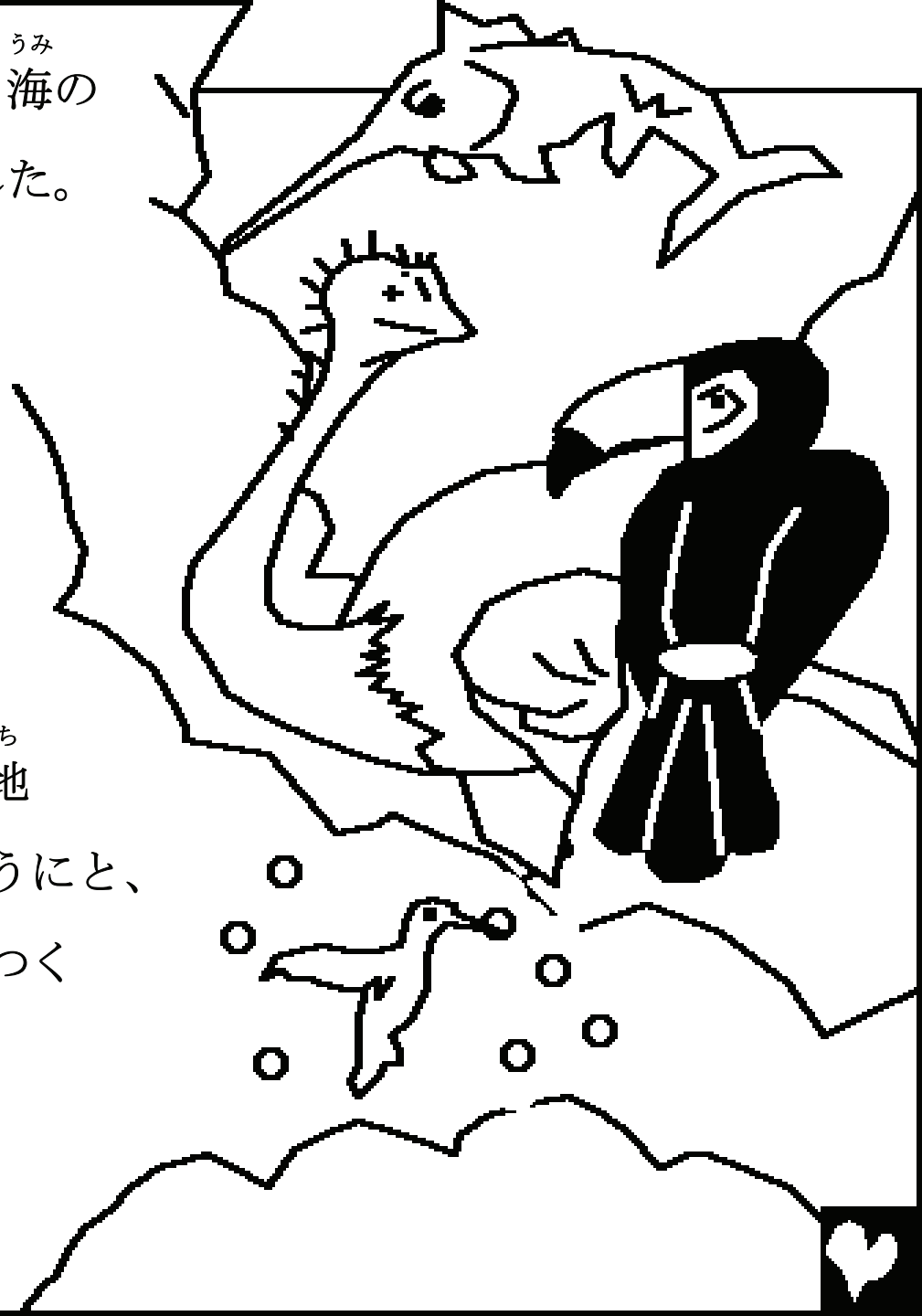
とり たの ち  
またいろいろな鳥たちが 楽しそうに地

うみ そら と  
や海や空を飛びまわることができるようにと、

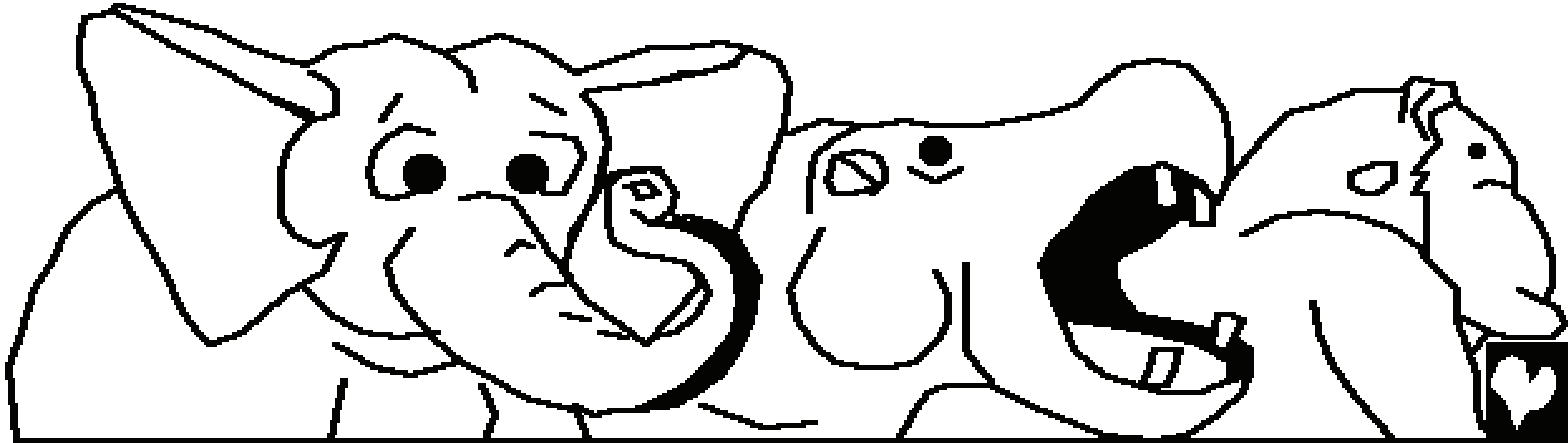
かみ なかま  
神さまは、いっぱい、いっぱい仲間をつく

ゆう  
られたのですよ。こうして夕となり、

あさ  
朝がやってきました。五日目です。



そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、  
みんな生き物はどんどんこの地においで。わたしがつくろう。  
さあ、どんどんおいで。」こうしていろいろな種類の動物や昆虫、  
はちゅう類もやってきました。ドシン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、  
いつも忙しそうなビーバーさんもいます。いたずら好きのサルさんやの  
そのそワニさんも。くねくねミミズさんとちょっと気取ったリスさんも。  
ひよろひよろしているキリンさんに、ゴロゴロのどを鳴らすネコちゃんも。  
ほんとうに神さまは、その日にあらゆる種類の生き物をつくられたのでした。  
こうして夕となり朝がやってきました。これが六日目です。



むい かめ                      かみ                      なに    ほか  
さて、六日目のことです。    神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、  
なに    とくべつ                      いま                      ひと                      じゅんび  
何か特別のこと……。    今もう、人をつくるための準備が、すっかりできあ  
                    の                      た    もの                      かれ    つか                      どうぶつ  
がっていました。野には、食べ物が、そして彼に仕える動物たちもいました。

                    かみ                      い  
そこで、神さまは、言われました。

                    わたし                      に                      ひと  
「さあ、私たちによく似た人をつくろう。

                    ち                      かれ                      したが  
そして地のものすべてを彼に従わせよう。」

                    かみ                      かみ                      じしん                      に                      ひと  
神さまは、神ご自身に似せて人

                    かみ  
をつくられたのです。神さまそっ  
くりにつくられたのでした。



かみ はな  
神さまはアダムに話されました。

「アダム、おまえは庭にあるものは、

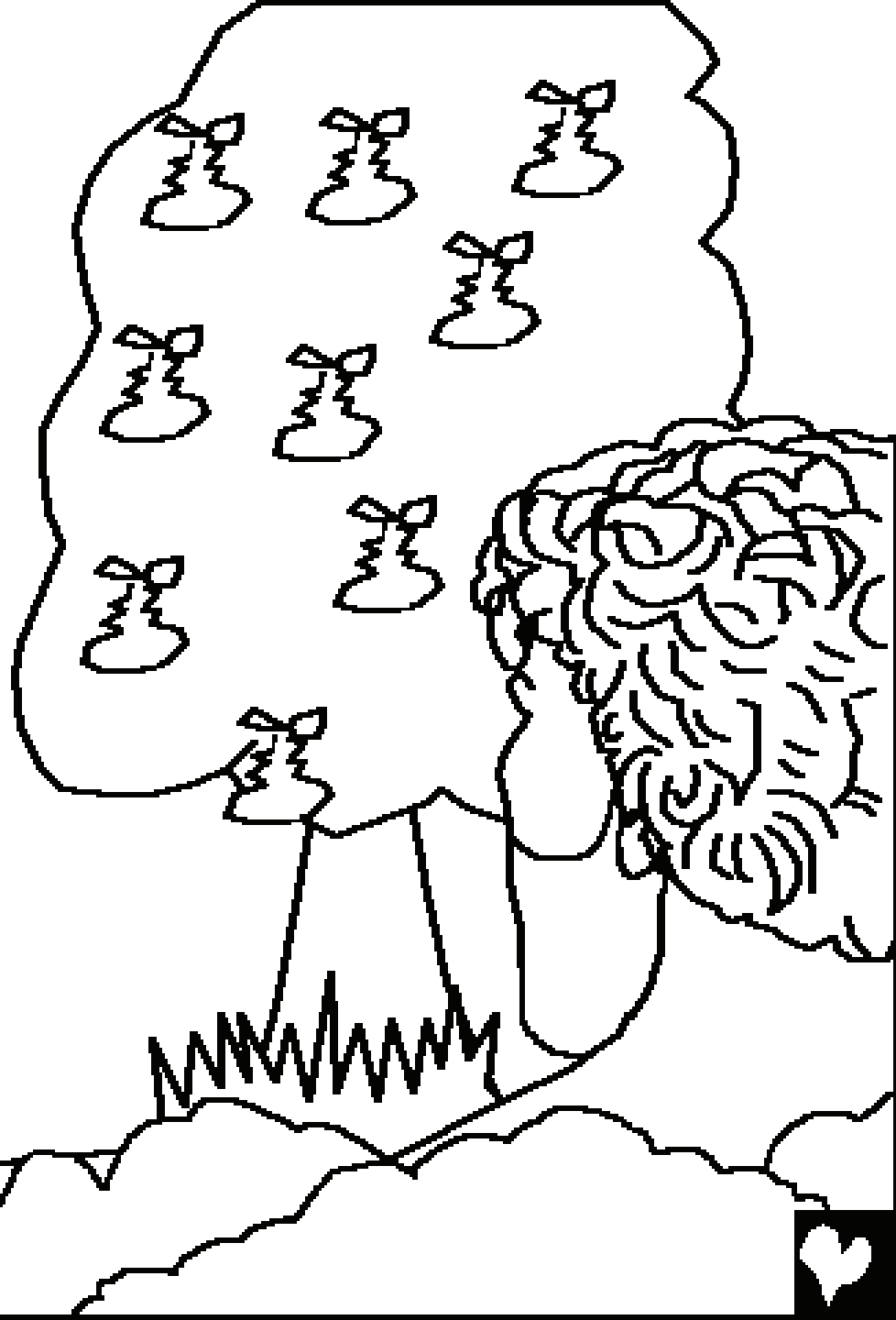
なん た  
何でも食べていいんだよ。でも、

ぜん あく おし ちしき き  
善と悪を教えてくれる知識の木

からだけは、食べてはいけない。

もしおまえがその木のものを食べると、

かなら し  
必ず死んでしまうんだよ。」





しゅ かみ い ひと ひとり  
そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人でいるのは、よくない。

わたし かれ なかま かみ  
さびしいだろう。私は彼に仲間をつれてこよう。」神さまは、

ことり どうぶつ よ  
アダムのところに、小鳥たちや動物たちを呼びました。

アダムは、かれらみんなに、

なまえ  
それぞれの名前をつけてあげました。

そんなことができるなんて、

かしこ  
アダムはきっと賢かったのでしょうかね。けれど、

とり どうぶつ なか  
これら鳥たちや動物たちの中には、アダム

なかま  
にぴったりの仲間はみつきりません。





かみ むいかかん  
神さまは、六日間ですべてのものをつくられました。

かみ なぬかめ しゅくふく  
それから神さまは七日目を祝 福なさって、

ひ やす び その  
その日を休みの日とされました。エデンの園では、

つま かみ したが  
アダムと彼の妻のエバは神さまに従いながら、

しあわ く かみ  
ほんとうに幸せに暮らしました。神さまは、

ふたり しゅ やしな ちち  
二人にとって主であり、養ってくださる父であり、

ともだち  
そして友達でもあったのです。



かみ とき  
神さまが、すべてのものをつくられた時のこと

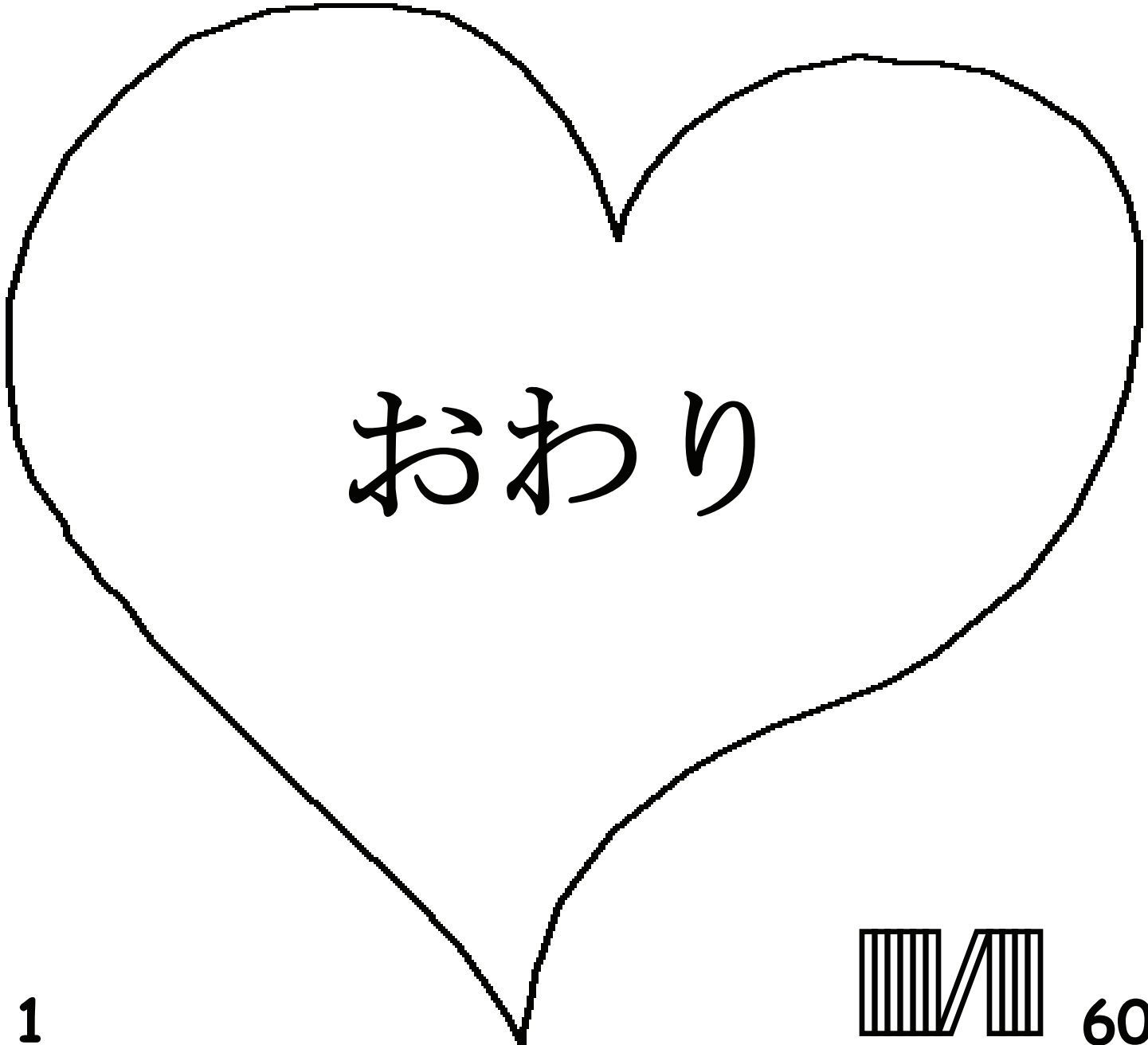
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ つみ し  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
いらっしやいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

